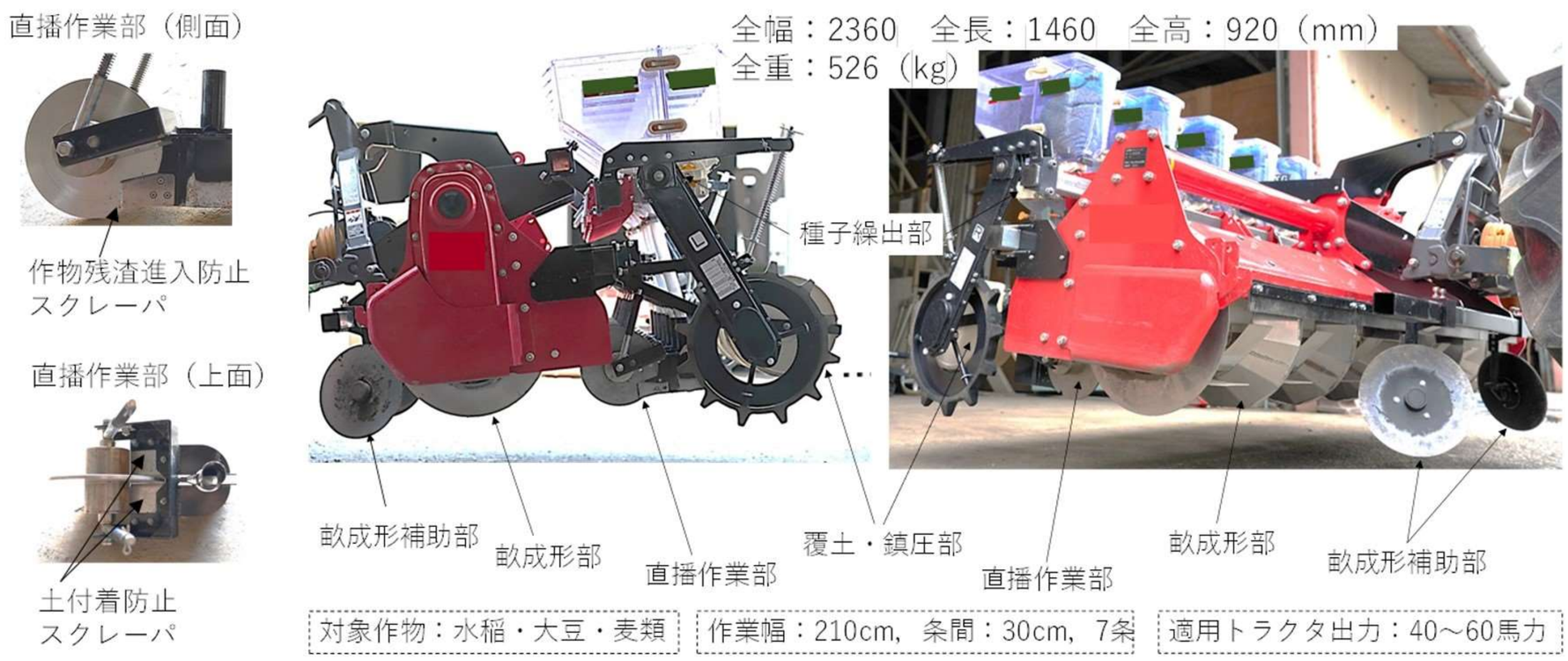
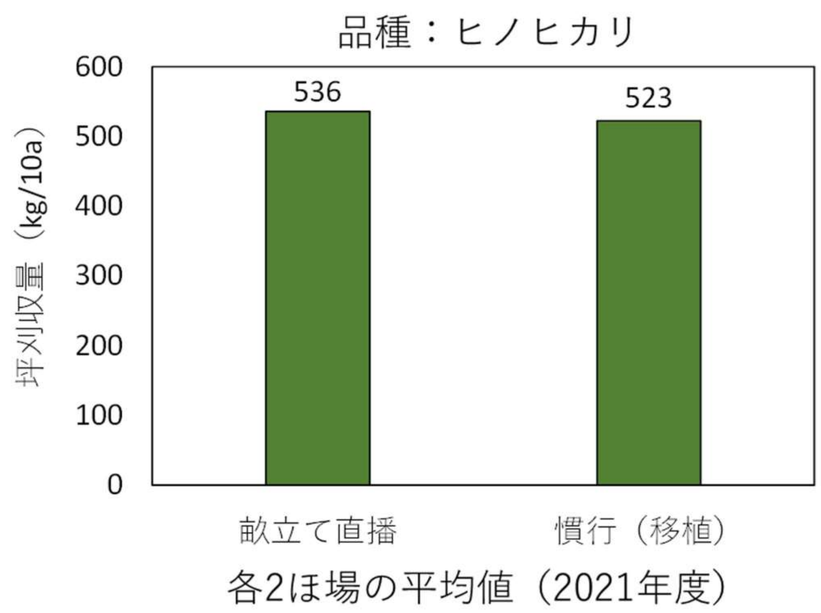
九州における水田乾田直播導入に貢献

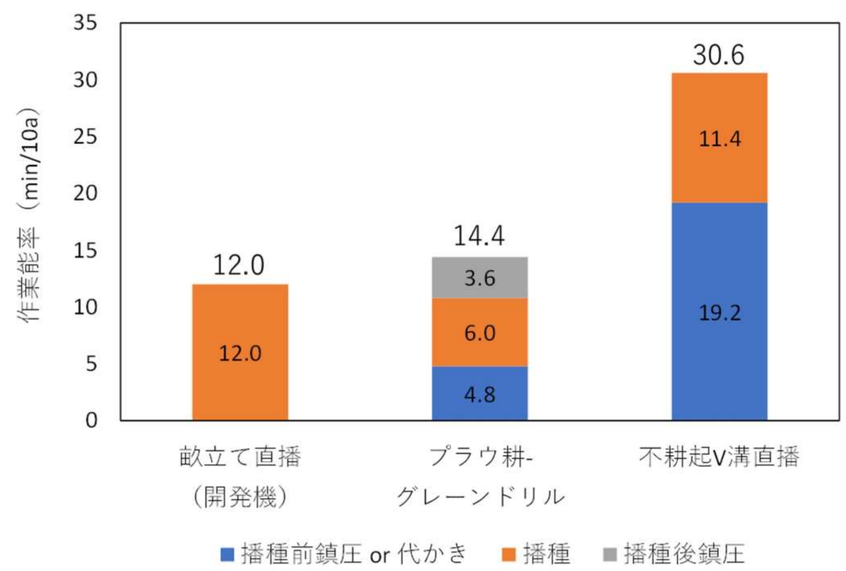
畝立て乾田直播機（うねたてかんでんちょくはき）

暖地二毛作体系において、降雨後の高水分土壌でも播種可能で、水田の漏水防止機能を有する畝立て乾田直播機をＩ-ＯＴＡ合同会社と共同で開発しました。排水不良地域や二毛作地域における乾田直播技術の導入と拡大を通じて水稲生産の省力化・低コスト化に貢献します。





畝立て直播 と 移植 の収量比較



開発機と従来技術の作業能率の比較

予算:農業機械技術クラスター事業「二毛作体系に適した水稲乾田直播技術の開発」および運営費交付金　特許:特開2022-053117「畝直播機構」

お問い合わせ先　農研機構九州沖縄農業研究センター　研究推進室
〒861-1192熊本県合志市須屋2421
電話：096-242-7530　　E-mail：q_info@ml.affrc.go.jp
URL：http://www.naro.go.jp/laboratory/karc/

（プレスリリース）降雨後の土壌でも適期を逸さず播種できる「畝立て乾田直播機」

（2023.7 作成）

農研機構九州沖縄農業研究センターが共同研究で開発した「高水分条件でも水稲乾田直播が可能な新技術～畝立て乾田直播機～」についてご紹介します。

　暖地二毛作体系において、降雨後の高水分土壌でも播種可能で、水田の漏水防止機能を有する畝立て乾田直播機をI-OTA合同会社と共同で開発しました。開発機は、トラクタの後方に装着し、表面が硬い台形断面状の播種畝を成形すると同時に畝の上面に播種することで、ほ場の漏水防止と生育初期の降雨・滞水による湿害回避を図ります。排水不良地域や二毛作地域における乾田直播技術の導入と拡大を通して水稲生産の省力化・低コスト化に貢献します。